

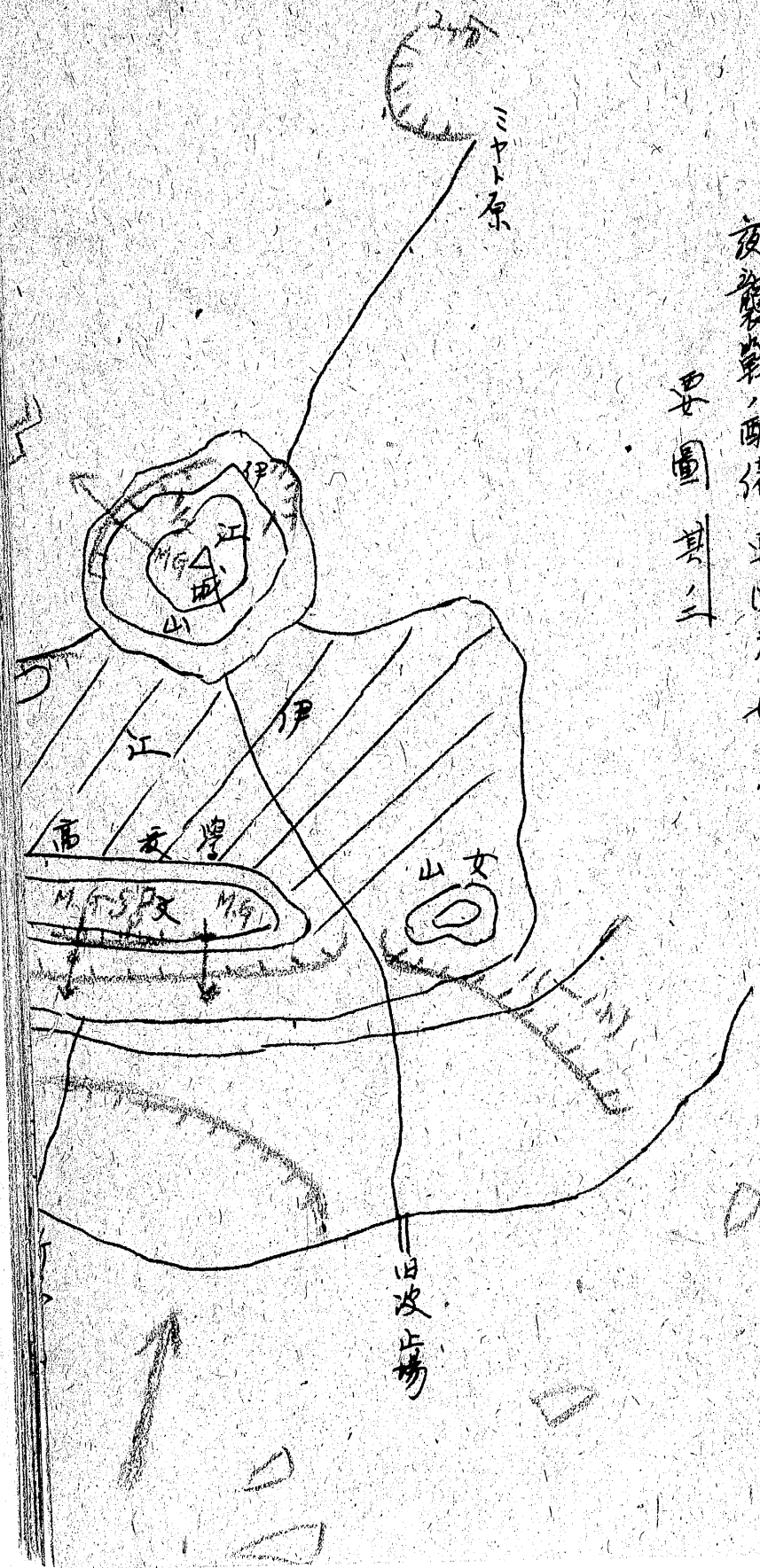
飛行場附近に宿営し、兵力ハ戦車數十輛ヲ含む約三千ナリト
 若中隊四組乃至七組計約千組、新込隊編成セラレ、日暮ヨリ夜半ニ至リ
 飛行場方面ニ進出シ、約半數ハ接敵ニ成テ、戦果ヲ上げ、ソノ確認セザ
 ルモ、戦車七輛擱坐、幕舎ニ破壊
 在隊員共下士官、兵數名ハ爆雷ヲ抱テ、戦車ト共ニ四散シテ、報告アリ

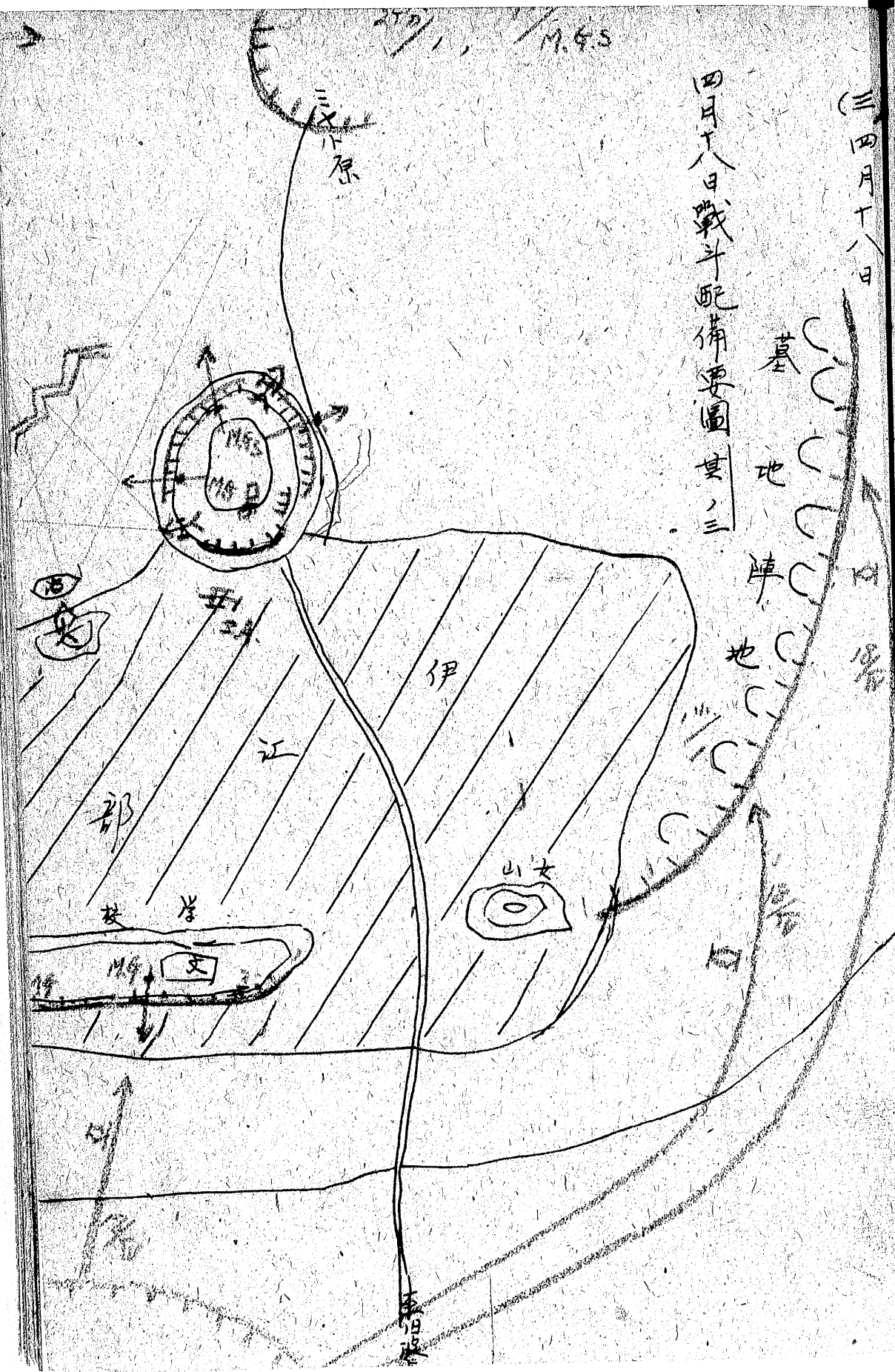
(一) 四月十七日

1. 1000噸敵ハ艦砲及氷納島、砲、熾烈ニ掩護射撃ヲ下シ、大型新送船
 約七十隻、多數、上陸用舟艇、氷陸兩用戦車ヲ以テ新波波止場ヨリ
 旧波止場ニ至ル南岸一帯ニ新上陸ヲ開始ス、ソノ兵力約六千新波止
 場ニ飛行場設定機材ヲシキモノヲ揚陸ス。
2. 同正面守備第二中隊及第一機関銃中隊ハ既設陣地ニ據リ、此敵ニ
 猛攻ヲ加ヘ、敵ニ多大ノ損害ヲ與フ
3. 第一機関銃中隊長満留中尉ハ部下數名ト共ニ本夜氷納島ニ泳ガ渡
 同島ニアル敵、砲ヲ爆破セシ事ヲ大隊長ニ具申シ、爆雷留置ニ浮揚
 機ヲ携行シテ進發ス。

4. 大隊敵、態勢未ダ整ハルハ今夜半ヲ期シ、大隊、三分、ニ、兵力ヲ以テ
 波止場方面、敵ニ對シ夜襲ヲ敢行シ、之ヲ擊退セントス。殘存、兵力ハ
 城西西方、敵、散言戒ニ任ス。
 夜襲戦、配備要圖无、如シ

要圖 其二

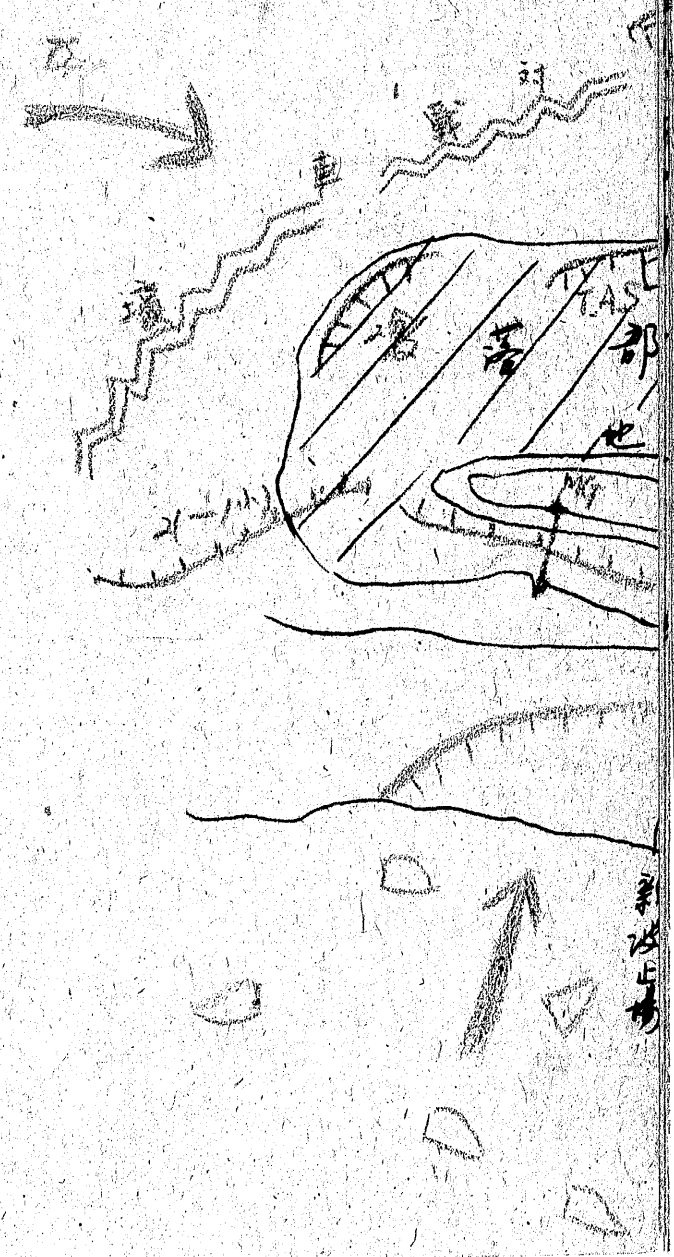


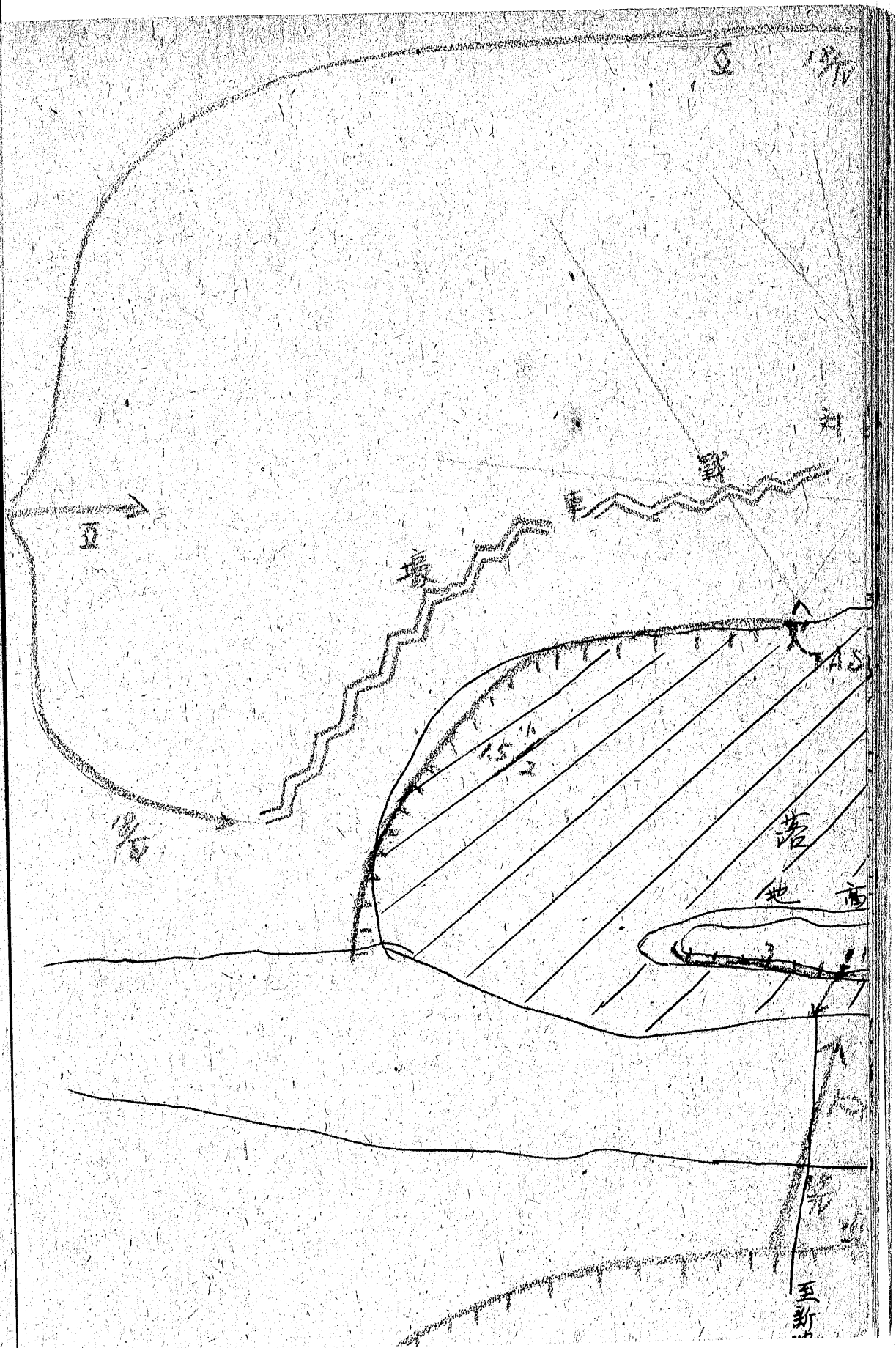


四月十八日戰鬥配備要圖其之三

三月十八日

右中隊十八日頃〇・〇。迄ニ攻撃準備ヲ完了シ、〇・三〇ヨリ攻撃ヲ開始ス
 我ガ主攻正面ハ新波止場ニ指向カレ奔襲ニ成テ敵ニ相當ノ損害ヲ
 與ヘタルモ、如キモ暗夜ノ爲ニ戦果ノ詳細不明ナリ
 敵ハ戦車艦砲、迫撃砲並ニ戦車ヲ以テ我ニ云々戦線ニ我ガ重機陣地
 ニ敵砲彈集中シ、約一時間余シテ、ソノ銃ハ破壊死傷十三名出セリ
 激闘ハ拂曉迄繼續ナレバ敵ノ猛砲襲撃ニヨリ遂ニ波止場ハノ
 進出ハ成ラス拂曉ニ至リ攻撃ヲ中止、各隊天々固有陣地ニ引揚グ





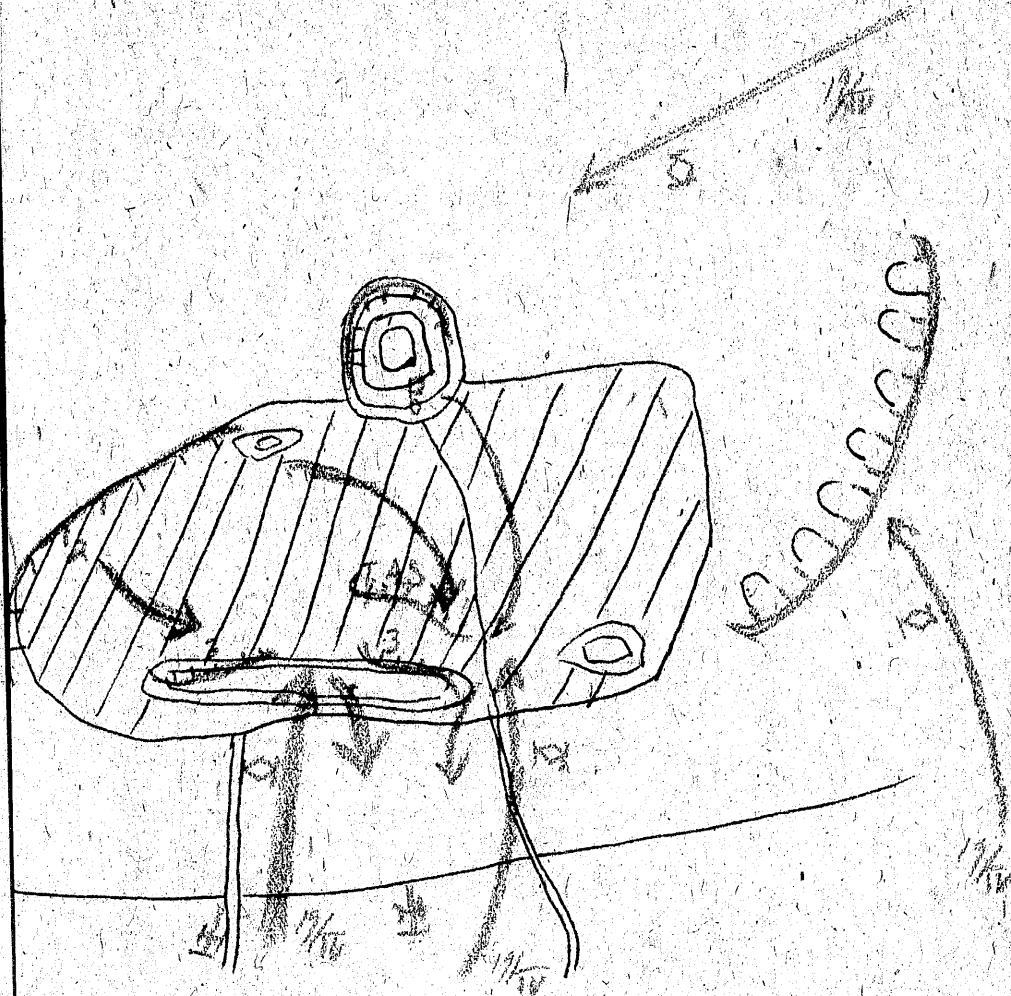
(三) 四月十八日 (要圖三参照)

小城山西方、敵ハ依然近接セズ、南ニ迴テ部落西端、ヤニ中隊中ニ
 小隊(隊長見島小尉)正西ヲ衝カントスル能心勢ヲ取り、又北ニ進ニテ
 戦車約十輛ヲ主トスル敵ハ城山ヲ遠ク迂回スル如ク北海岸ニ沿ヒ東進
 シテ、一〇〇〇噸ヨリヤト原ニ分遣セルヤニ中隊前田中尉指揮、ニヤ分隊及旅
 機一々分隊、正西ニ至リ籠ル。中隊以下孤軍勇戦奮闘シタルモ強ク
 全員戦死ス。
 敵ハ一〇〇〇噸ヨリ我ニ對シ本格的猛攻ヲ加ヘ来ス。即チ新改正場方面
 敵、主力ハ南ヲリ部落及ビ學校高地ヲ攻撃シテ来ス、ソノ主体
 戦車約四十輛ニシテ、後方ニ多量ノ野砲、迫撃砲ヲ有シ、敵機
 ハ終始低空ニシテ地上敵ニ協力ス。
 敵主改正面ヲ準備セラザル長中尉、率ルルヤニ中隊及ビ中隊首見
 両少尉ノ指揮スルヤニ機關銃中隊ハ比困難ノ中ニテ終日死闘ヲ
 繰返シ敵艦砲彈雨下テ高地ニ迫ル戦車部隊ヲ重機擲弾筒
 同攻ニテ及撃シテ陣地ヲ固守ス。
 南岸、敵、一部ハ漸次東方ニ進出シ東海岸ヲ小城山方面ヲ衝カント
 シ、午後後女山、東北方ニ進出シ高地陣地ニ戦車約十輛ヲ以テ攻撃シ
 来ルル同陣地ヲ固守シ、予ニ中隊高野少尉ハ一々小隊ヲ以テ勇戦

善方遮蔽物乏シ人方禦困難ナル其陣地ヲ能ク確保ス。

(四)四月十九日

戰斗配備要圖
四ノ其



(四)四月十九日 (要圖其ノ四参照)

敵ハ此日早朝ヨリ再々學校高地及墓地陣地ニ對シ砲撃シ、
戰車群ヲ以テ猛攻ヲ加ヘ來ル。第三中隊及第一機中隊ハ連日奮
戰ニ死傷續出、彈藥亦缺乏ス。平良中隊長ハ此日指揮
現員ト共ニ自片ヲ送リ、戰闘ニ臨ミ、慘烈ニ防禦戰闘
ヲ繰返シ、陣地ヲ死守シタル也。敵砲撃ハ甚烈ナリ、平良中尉
以下將兵、多数ハ戦死シ、一〇〇〇噸ハ遂ニ敵戰車群ハ學校高地ニ
ニ進出スルニ到ル。
獨逸隊長 諸江大尉ハ自ラ部下ヲ率テ學校高地北側ハ至地ニ進出
第一中隊ヲ掩護下ニ據敵小銃並ニ手榴彈ヲ以テ高地上ハ敵撃
退シ、高地ヲ奪回ニ成功ス。敵ハ再び高地ヲ奪取ラシムルニ
ハ道路ヨリ七戰車進出シ來ル。
命ヨリ水徳少尉指揮、大隊予備隊及生森少尉指揮、大隊
本部員並ニ轉進シ來タル因村部隊ハ將兵ハ學校高地敵投ニ出
動シ、激闘ハ三三〇〇ニ到リ、遂ニ繼續セラレ、高地ヲ我軍方ニ確保ス。
此日午後城山東北方ヨリ敵戰車十數輛ハ步兵ヲ伴ヒ東北側ハ陽
独機、陣地正面ニ來龍ス。我軍各隊ハ既設陣地ニ據リテ之ヲ及撃ス。

(五)四月二十日 (要圖其ノ五参照)

四月二十日以後

敵ハ朝来砲撃ヲ戰車ヲ以テ總力ヲ與ゲテ高地、墓地、陣地、城山、陣地
一猛攻ヲ加ヘ来タル。

昨夜、命令ニヨリ、部隊ハ西方ニ對シテハ一部ノ兵力ヲ残シテ西方
ノ敵ニ對シテ他ハ全力ヲ以テ攻撃高地及墓地ノ敵ヲ及撃テスルニ決ス。

野砲一門、連射砲一部ハ陣地ヲ轉換シテ同方面ノ敵指向日セラル。

我々部隊後必死ノ奮闘防戦ニ拘ラズ、連日、激戦ニ各隊共々復多
陣藥、銃、之ノ状況ニテアリ、ソノ苦戦言語ニ絶シタリ。

午前中、敵ハ再び高地ニ進出シテ、砲、戰車ノ放列ヲ數テ一部
ハ高地北側ニ進出シ来ル。

午後、至ルヤ敵ハ更ニ城山西方ヨリ戰車ヲ以テ攻撃テ来タル之ヲ
敵ヘテ予ニ中隊(草叢中尉指揮)及ビ孤軍、孤機、各隊ハ陣地ヲ
防戦ス。

更ニ城山東北方ヨリ敵戰車群ノ猛攻ヲ受クルニ到ル。

此日ノ激戦ニ於テ予ニ中隊長大尉中尉ハ譽高、正副、奮闘ニ敵死
高野少尉(中隊)山下少尉(孤軍)向山准尉(孤軍)ハ戦死シ、見島少尉
(中隊)ハ重傷ヲ受テ、爾後、特攻下士官兵次々ニ傷付キ敵死シテ、

我軍血泥、苦戦、ウチニ日ハ漸ク暮レタリ。敵ハ戰車群、銃、壕ハ此時
既ニ伊江島最後ノ陣地ニ城山、後、陣地ヲ包圍シタリ。

一九〇〇頃、城山、戰闘指揮所ヨリ
敵上陸以テ五日間、我々將兵ハ優秀ノ裝備ヲ誇ルニ倍ニ餘ル
敵軍ヲ激ヘテ、連日、連夜、勇戦奮闘、敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルニ

我々亦特兵相次リテ敵死シ、陣藥ハ缺乏ヲ告ケルニ到レリ。

茲ニ於テ我々残存セシ全兵力ヲ以テ今夜半、期ニ敵ニ最後ノ銃、砲
ヲ加ヘントス。

自ノ命令ガ傳ヘラル。

連日ノ損害ニヨリ此ノ突撃ニ加ハリ得タル者ハ將校約十名、兵約百
數十名ト推算セラル。狭小ナル地域ニ集中スル砲彈、多ク行動ハ阻害セ

出點ニシタルハ四月二十日、二、三、頃ナリキ

井川部隊長、諸江大尉、率キル主力ニ敵ハ譽高、高地方面ニ向
ニ草叢中尉以下、一隊ハ飛行場方面ヘ出撃ス。

此時、城山ヲ包圍スル敵、戰車群、ヨリスル戰車砲、機銃、彈雨
ハ猛烈ヲ極メ、此ノ彈雨中ニ在リテ、第一中隊長若田中尉以下
多數ノ將兵ハ戦死シ、井川部隊長モ亦譽高、高地方面ニ於テ
壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ

八、斯多指挥官之失二战友上别レ夕極小敷之兵ハ数人宛感
各個ニ潜在シテ遊撃ヲ戰ニ移行シテ終戦ニ至ル

四月三日夕刻ニ於テ
戦中配備要圖
其ノ五

